

令和3年度 北海道教育功績者表彰被表彰者

No. 1

所属・職名 氏年 名 年齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
美唄市立 美唄中学校長 おおた ともこ 太田 智子 (60歳)	北海道中学校長会 副会長 北海道公立小・中・特 別支援学校女性管理職 会空知支部 会長	中学校教諭 18.00 中学校教頭 6.00 小学校教頭 4.00 小学校長 1.00 中学校長 8.06 計 37.06	<p>昭和59年(1984年)採用以来、本道の小中学校教育に携わり、優れた判断力と指導力により、「学校力向上に関する総合実践事業」において、令和3年(2021年)から全面実施となる学習指導要領の円滑な実施や学力及び職員の資質の向上、小中連携の強化に努めた。</p> <p>また、地域の資源である宮島沼を教材とした自然や環境などの学習を実践する郷土学習を創り上げるとともに、複式学級を有する小規模校において、その特性を生かし、一人一人の子供たちに寄り添った個々の力を最大限に伸ばす複式教育に力を注ぐなど、子供たちと真摯に向き合う献身的な取組は、他の職員の模範となり、教育関係者はもとより保護者からも高く評価されている。</p> <p>さらに、北海道中学校長会副会長や、北海道公立小・中・特別支援学校女性管理職会空知支部会長等の要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。</p>
北海道 札幌東高等学校長 たじり かつとし 田尻 勝敏 (60歳)	全国高等学校長協会 北海道理事 北海道高等学校長協会 副会長 北海道高等学校体育連 盟 体操専門部長 北海道高等学校P T A 連合会 理事	高等学校教諭 22.00 高等学校教頭 3.00 高等学校副校長 2.00 高等学校長 8.06 計 35.06	<p>昭和61年(1986年)採用以来、本道の高等学校教育に携わり、地歴・公民科教育における実践研究に努めて本道の教員の指導力向上に尽力するとともに、北海道高等学校体育連盟体操専門部長として運動部活動の振興に取り組んだほか、生徒の学力向上と進路実現を果たす力強い学校経営に努めるなど、本道の教育の充実発展に尽力した。地域連携による郷土学習の取組では、地域の協力を得るため積極的に働きかけ、「天売学」と銘打った郷土学習等、離島の特色を生かした取組を行った。</p> <p>また、生徒の安全・体力向上の実践、進路実現に向けた取組、及び社会のニーズに応じたICTを活用した学習推進などをけん引し、コロナ禍においては、他の高等学校にも、学びの保障への取組を提言するなど、その実績は高く評価されている。</p> <p>さらに、全国高等学校長協会北海道理事等の要職も務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。</p>
小樽市立 菁園中学校長 みやざわ さとる 宮澤 知 (59歳)	北海道中学校長会 副会長 小樽市校長会 会長	小学校教諭 1.00 中学校教諭(海外 日本人学校教諭含) 17.00 小学校教頭 1.00 中学校教頭 3.00 市教育委員会 指導室主幹 2.00 市教育委員会 指導室長 4.00 中学校長 6.06 計 34.06	<p>昭和62年(1987年)採用以来、本道及び在外教育施設において美術科の指導に当たるとともに、北海道バレーボール協会指導普及委員会副委員長等を歴任し、部活動の指導において優れた成果を収めるなど、本道教育の充実発展に尽力した。</p> <p>また、学校の統廃合に当たり、管理職として閉校業務や開校業務に携わり、とりわけ新設校においては「ふるさと教育・命の教育・英語教育」を3つの柱として、地域に密着した特色ある教育活動を展開するとともに、文部科学省の「学園制加配活用事業」の指定を受け、小学校における教科担任制の先進的な取組を実施したほか、国語力の向上を主眼にNIE教育の実践校として新聞を活用した教育を展開するなど、その実績は道内外から高く評価されている。</p> <p>さらに、小樽市教育委員会の指導主事として、教職員の資質能力の向上や学校の組織力の強化に尽力したほか、北海道中学校長会副会長等の要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。</p>

所属・職名 氏年 名 年齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
新ひだか町立 静内中学校長 かなり ひろし 神成 浩 (60歳)	北海道中学校長会 理事 日高地区校長会 会長 日高造形教育研究会 会長	中学校教諭 16.07 小学校教頭 3.00 中学校教頭 4.00 中学校長 10.06 計 34.01	昭和62年(1987年)採用以来、本道の小中学校教育に携わり、 図工・美術教育を中心に、地域の教育資源を積極的に活用した 特色ある教育活動の展開に努めた。 特に、地域の特性にあわせた小中一貫教育や放課後学習の 充実を図るとともに、高山植物再生プロジェクトを教育課程 に位置づけるなど、地域に根ざした教育活動を通して、生徒 の課題解決力、表現力の育成に顕著な成果を上げた。 また、平成28年(2016年)度全日本中学校長会研究協議会東 京大会では「キャリア教育の視点に立った進路指導の充実」 として北海道を代表して実践発表を行うとともに、平成30年 (2018年)からは、令和3年(2021年)から全面実施となる学習 指導要領に対応した学校運営の改革、学校評価の工夫改善等 の取組を重点に据え、管内教育の充実発展に尽力し、その実 績は高く評価されている。 さらに、北海道中学校長会理事等の要職を務め、本道の教 育振興に貢献した功績は誠に大である。
七飯町立 大沼岳陽中学校長 ならやま さとし 檜山 聡 (60歳)	北海道中学校長会 副会長 北海道渡島小中学校長 会 会長 渡島性教育研究会 会長	中学校教諭 12.00 国立大学附属 小学校教諭 11.00 中学校教頭 2.00 国立大学附属 小学校副校長 4.00 中学校長 6.00 学校長 1.06 計 36.06	昭和60年(1985年)採用以来、本道の中学校教育及び教育行 政に携わり、専門である保健体育教育に尽力するとともに、 北海道教育大学附属函館小学校在任中は、調査研究を重ね「北 海道の中学校における積雪寒冷期間前後の体力・運動能力」、 「小学校における体育授業への苦手意識に関する研究：運動 有能感に着目して」など論文を発表し、本道の教育の充実発 展に尽力した。 また、七飯町立大沼中学校長として小規模校の特性を活か した教育にも取り組み、学校・保護者・地域が一体となった 学校運営に取り組んだほか、七飯町大沼地域において、義務 教育学校設立に向け、地域と密に連携を図り、令和2年(202 0年)4月に町内初の義務教育学校「七飯町立大沼岳陽学校」 の運営を開始させるなど、その実績は高く評価されている。 さらに、北海道中学校長会副会長等の要職を務め、本道の 教育振興に貢献した功績は誠に大である。
比布町立 中央小学校長 このん もとき 紺野 元樹 (60歳)	全国連合小学校長会 理事 北海道小学校長会 副会長 北海道算数数学教育会 上川地区常任理事	小学校教諭 18.00 中学校教諭 3.00 小学校教頭 5.00 中学校教頭 3.00 小学校長 8.06 計 37.06	昭和59年(1984年)採用以来、本道の小中学校教育及び社会 教育に携わり、子ども一人一人の学力向上や指導方法、指導 体制の工夫改善、主体的で深い学びの実現に向けた授業改善 に努めるとともに、地域との連携による学校づくりに取り組 むなど、本道教育の充実発展に尽力した。 また、比布町立中央小学校長として、同校が平成26年(201 4年)度から研究を重ねてきた小中連携・一貫教育実践事業に おいて、平成30年(2018年)度以降中学校教員による乗り入れ 授業や出前授業による児童生徒の学習活動を重点とした小中 連携の取組を積極的に推進し、平成31年(2019年)4月には同 校と比布町立比布中学校を小中一貫校へと導くとともに、義 務教育9年間の系統性と連続性のある教育環境を確立するた め、義務教育学校開校への発展的な基盤を築いた実績は高く 評価されている。 さらに、全国連合小学校長会理事等の要職を務め、本道の 教育振興に貢献した功績は誠に大である。

所属・職名 氏年 年齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
北海道旭川東 高等学校長 こばやし ためぐろう 小林 為五郎 (60歳)	北海道高等学校長会 副会長 北海道高等学校国語 研究会副会長	高等学校教諭 16.00 教育局指導主事 3.00 教育局指導班 主査 7.00 高等学校教頭 2.00 教育局 教育支援課長 2.00 高等学校長 6.06 計 36.06	昭和60年(1985年)採用以来、本道の高等学校教育及び教育 行政に携わり、国語科教育における実践研究に努め本道の教 員の指導力向上に尽力するとともに、生徒の学力向上と進路 実現を果たす力強い学校経営に努めるなど、本道の教育の充 実発展に尽力した。 また、留萌市内の高等学校再編統合に当たって強いリーダ ーシップを発揮し、普通科と職業科等、学科の異なる学校の 統合に尽力し、生徒の多様な学習ニーズや進路実現のために 具体的なカリキュラムを編成・実施して混乱なく円滑な統合 を行い、統合後においても留萌高等学校長として、その礎を 確立するなど、その実績が高く評価された。 さらに、北海道高等学校長協会副会長等の要職を務め、本 道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。
留萌市立 留萌中学校長 なお まこと 長尾 真 (59歳)	北海道中学校長会 理事 留萌管内小中学校長会 会長 留萌地方国語教育研究 会 会長	中学校教諭 16.00 中学校教頭 10.00 小学校長 1.04 中学校長 8.01 計 35.05	昭和61年(1986年)採用以来、本道の小中学校教育に携わり、 一人一人の個性を生かし、互いに学ぶ授業づくりを心がけ、 興味関心を高める教科指導と学ぶ生徒全員が主役となる丁寧 な学級集団づくりを実践するなど、本道教育の充実発展に尽 力した。 文部科学省の「国語力向上モデル事業」においては、教員 の国語力の向上と成果の普及に努めた。 また、「社会に開かれた教育課程の具現化を目指した中高 連携及び地域連携事業」を推進するなど、教育課程編成に関 わってその方向性を「学校」、「家庭」、「地域」で共有し、地 域全体で学校改善に向かう協働体制を構築し、その実績は高 く評価されている。 さらに、北海道中学校長会理事等の要職を務め、本道の教 育振興に貢献した功績は誠に大である。
北海道帯広柏葉 高等学校長 きちせ けんさく 吉瀬 献策 (59歳)	北海道高等学校長協会 常任理事 北海道高等学校書道教 育研究会 会長	高等学校教諭 17.00 高等学校教頭 9.00 高等学校長 7.06 計 33.06	昭和63年(1988年)採用以来、本道の高等学校教育に携わり、 国語科教員として教育実践力の向上と研さんに励み、研究成 果や実践内容を数々の研究会等において発表し国語教育の発 展に寄与するとともに、キャリア教育や教育相談に係る実践 発表を行うなど、本道の教育の充実と発展に貢献した。 また、道内各地において、小規模校から大規模校に至るま で学校改革に尽力するとともに、普通科単位制、総合学科な どの新しいタイプの高校や多学科集合型学校において特色あ る学校づくりのためのカリキュラム・マネジメントに取り組 み、その実践内容を道内外の研究会等において発表するなど、 成果の普及に努め、その実績は高く評価されている。 さらに、北海道高等学校長協会常任理事等の要職を努め、 本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。

所属・職名 氏年 年齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
釧路市立 共栄中学校長 伊藤 晃一 (60歳)	北海道中学校長会 理事 釧路市小中学校長会 会長 北海道中学校体育連盟 常任理事	中学校教諭 16.00 中学校教頭 3.00 市教育委員会 指導主事 5.00 市教育研究 センター所長 3.00 国立大学附属 小学校副校長 5.00 中学校長 5.06 計 37.06	昭和59年(1984年)採用以来、本道の小中学校教育及び教育行政に携わり、特に、生徒指導の分野においては、釧路市が不登校対策として立ち上げた学校適応指導学級「青空学級」において授業支援を行ったほか、釧路市生徒指導研究協議会の会長を務め、生徒指導上の諸問題に対して真摯に向き合い、課題解決に向けて尽力するなど、確かな理論と豊富な実績に基づいた指導・研究に情熱を傾けた。 また、釧路市教育委員会指導主事として、釧路市小中学校長協会や教頭会とのパイプ役を担ったほか、フルブライト記念基金による日米教育委員会「マスターティチャープログラム」の一環としてアメリカの学校を訪問し共同研究を行うなど、多方面にわたる活動により築いた実績は高く評価されている。 さらに、北海道中学校長会理事等の要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。

※ 年齢及び在職年数は、令和3年(2021年)9月30日現在